



平成 31(2019)年 3月 11日
第 11 号
葉山町立上山口小学校
校長 富樫 俊夫
TEL 046-878-7529

「よりよい学校づくりのために」アンケートご協力ありがとうございました。

「よりよい学校づくりのために」アンケートにご協力いただきありがとうございました。本アンケートは、本校の教育活動向上のため、保護者より意見を伺い、今後の教育活動に生かし、学校と家庭・地域その他関係機関と連携を図ることをねらいとし実施しました。

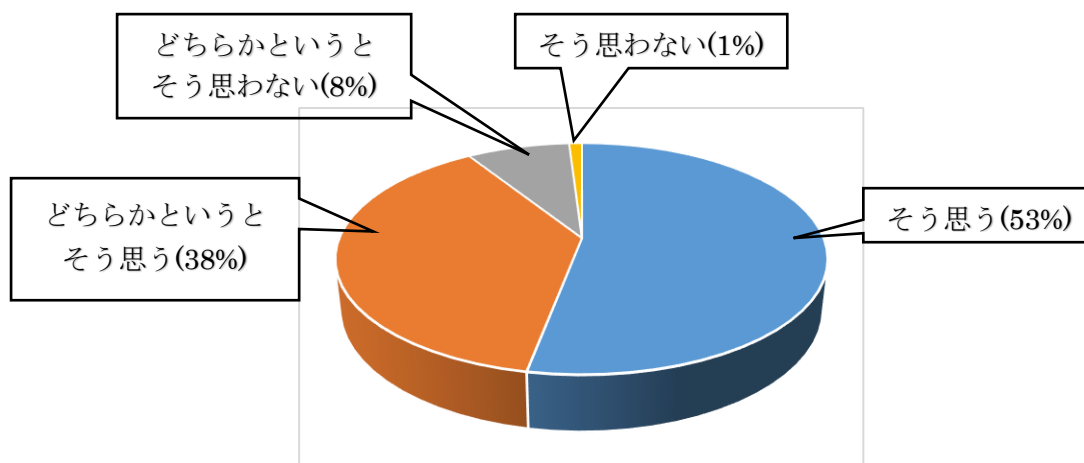
アンケートについては、学校教育目標を踏まえ7項目にわたり、「そう思う」、「どちらかというと思う」、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の選択方式及び自由記述方式で実施し、今年度は、全115世帯（11月アンケート実施時）中78世帯（提出率68%）より回答をいただきました。

今回のアンケート結果及び保護者の自由記述欄につきましては、本校教職員全員で拝見し、次年度の学校運営にどのように生かしていくか、ご要望に応えるためにどんな教育環境が必要なのかなど、様々な検討を重ねました。現在できうる学校としての考えを後に記載させていただきました。

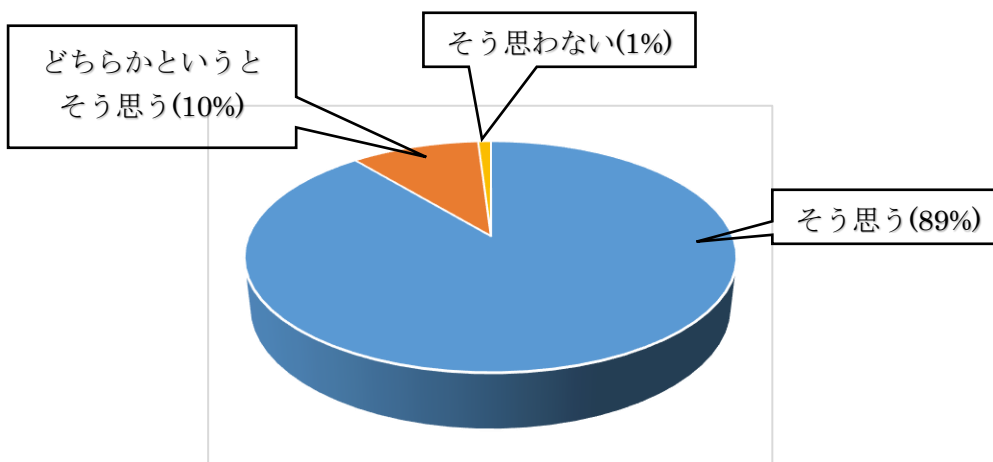
なお、今回のアンケート結果は、今年度の本校の教育活動の年度末反省や学校評価をする際の重要な結果と認識しております。

アンケートの集約結果について

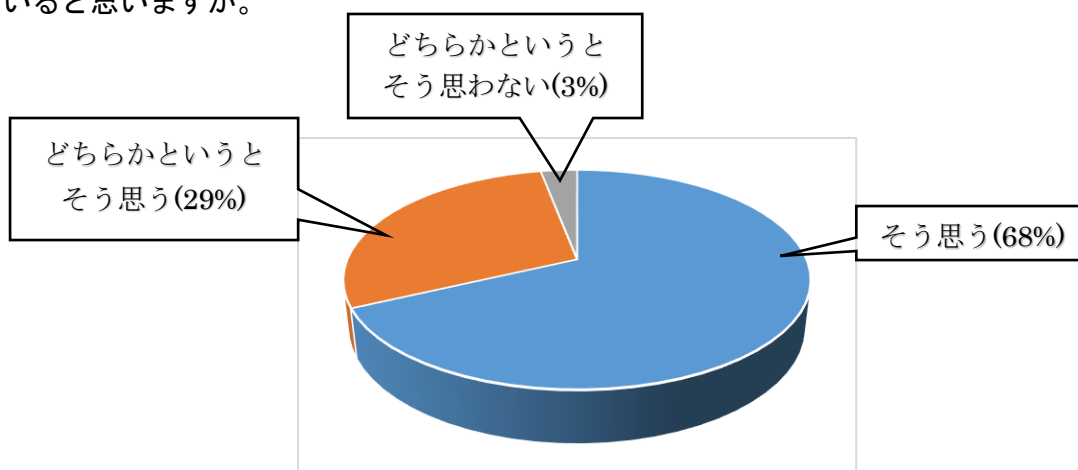
- 1 学校は、学習指導を工夫し、児童一人ひとりの学力向上に取り組んでいると思いますか。



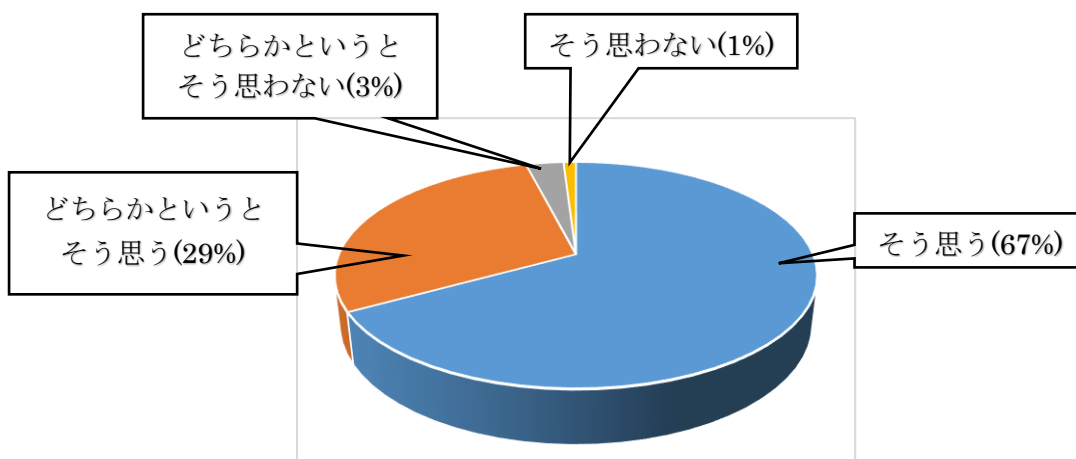
2 学校は、児童が体験的学習活動（学校行事・学年行事・たてわり活動等）に意欲を持って取り組めるよう努めていると思いますか。



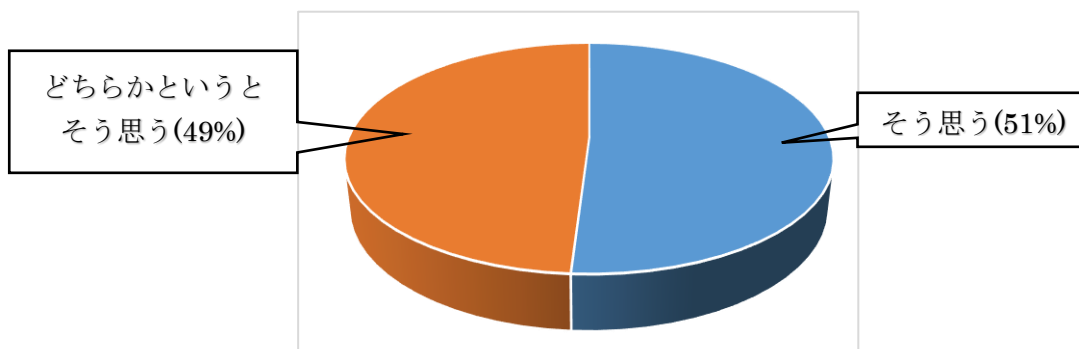
3 学校は、様々な教育活動を通して、児童が協力したり助け合ったりする態度の育成に取り組んでいると思いますか。



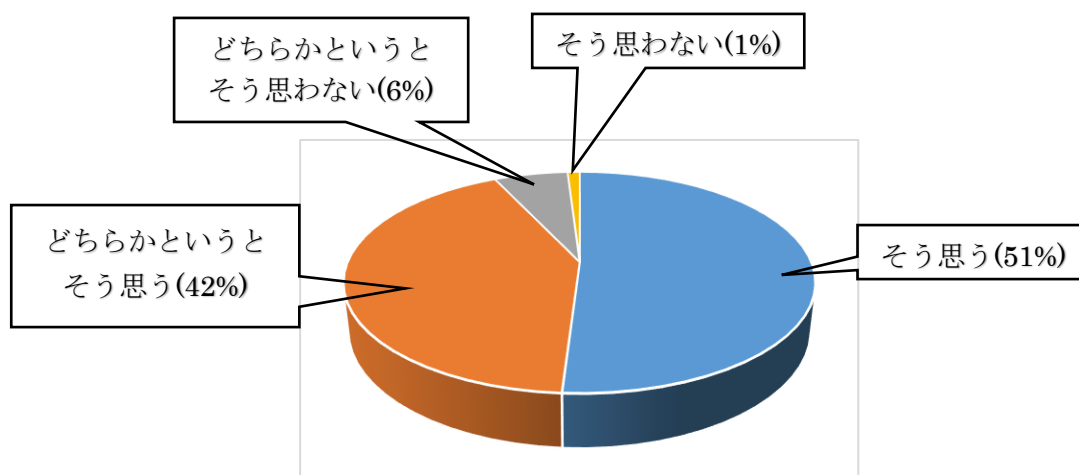
4 学校は、安心して学校生活を送れるよう、健康・安全教育に取り組んでいると思いますか。



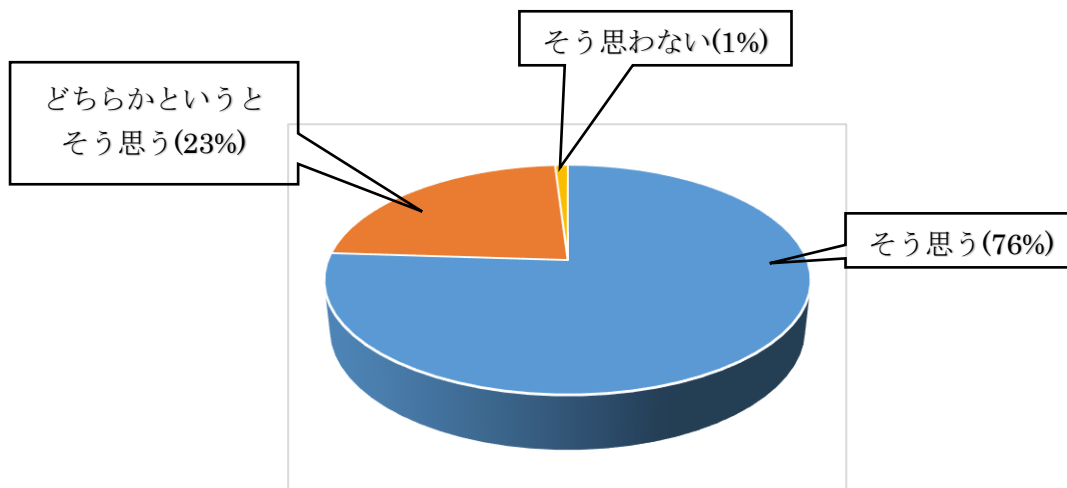
5 学校は、家庭や地域と連携した指導を行っていると思いますか。



6 学校・教室の施設や設備は、学びやすいように整備されていると思いますか。



7 学校は、地域の環境を生かした学習活動を行っていると思いますか。



【以上の結果より】

どの項目についても「そう思う」、「どちらかというと思う」が90%を越えており、本校の教育活動に対して概ね良い評価いただいたと感じているところです。

しかしながら、第1項目の「指導法を工夫した児童の学力向上への取り組み」については、9%の保護者から「どちらかというと思わない」、「そう思わない」というご指摘をいただきました。

本校では今年度、「かながわ学びづくり推進地域研究委託」、「葉山町学びづくり研究推進」拠点校として、2020年度より実施される新学習指導要領の趣旨に基づき、大学教授を講師に招きご指導を受け授業研究をすすめ授業改善に取り組んでまいりました。これからの将来を生きぬく子どもたちが身につけるべき資質・能力という観点や「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに学力をとらえ、今後も引き続き子どもたちの学力向上に向け授業研究を継続していきたいと考えています。

また、第6項目の「学校・教室の施設や設備の整備」については、7%の保護者から「どちらかというと思わない」、「そう思わない」というご指摘をいただきました。学校・教室の施設・設備の整備については、教育委員会担当部局と改善に向け相談していきたいと考えております。加えて、保護者の視点で改善が必要という箇所についてお教えいただけると幸いです。

その他の項目についても、前年度実施していたからするのではなく、学校としてこの1年間を振り返り、次年度に向け行事や教育活動等について計画的に進めていきたいと考えております。

【自由記述欄】

1 平成30（2018）年度「よりよい学校づくりのために」保護者の方の主なご意見

保護者の皆様からいただいた主なご意見を載せさせていただきました。いただいたご意見は、全て職員全員で拝見し、職員会議等で今後の対応について確認・話し合いを行っております。なお、昨年末の個人面談で回答させていただいたものにつきましては、略させていただきます。

(1) 日頃より子ども達の指導、感謝申し上げます。常々、残念なのは、挨拶できない子が多いことです。

学校の指導というより、各家庭での指導なのかもしれません。少人数の学校だからこそ元気な挨拶がとびかうような学校であってほしいと願うばかりです。

(2) 兄、姉の時からお世話になって9年目となります。どの子も学校を嫌がることなく、楽しく通っているので、安心してお任せしています。あえて気になることをあげるとすると、子ども達の活気が以前より無くなってきているような気がします。挨拶のできる子は一部で、大半は出来ないと思います。時代の流れで、知らない人に声をかけない様になっているからかもしれませんが、だとするとPTAの挨拶運動もせつかくやってくれているのに実を結ばないなと残念に思います。毎年、子ども達の雰囲気が違うので、たまたま今年そう感じるのかもかもしれませんが・・・校外では知らない人に挨拶しづらいかもしれないので、せめて校内では元気に挨拶できるといいかなと思います。

(3) 校庭を放課後、子どもたちに開放してほしい。子供たちが外でのびのびと体を動かし、かつ、多

数の子たちと遊べる場がない。一色小や葉山小では放課後もそのまま決まった時間まで遊べる話を聞いた。住む場所も密集していない上山口小は仲間と楽しむ場所が児童館のみで、児童館は外で遊ぶには狭すぎる。横浜には登録した児童は学校でそのまま遊べるシステムもある。上山口小、そして葉山全体の学校もそのようにならないかと思う。

- (4) 校庭利用を可能にできないのか？先日の授業参観で、休み時間で校庭で遊ぶ子供達を見ました。授業の中で過ごす子供達とは違う素の顔で仲間と育む姿が、まだまだ小学生、かわいく見えました。ただ15分というのはあっという間で、遊びが盛り上がった時には、もう解散で、外遊びから学ぶ発見や発想の知識を得られない・・・上山口、木古庭は自然いっぱいであるのに、外で遊べる場所が足りていない・・・その中で、やはり校庭という場所は、広く、車の出入りも少ないし、放課後の少しの時間に開放して頂けたら、上小の子供達のよりよい飛躍になるのでは？と思います。先生方の人数も少ないのは承知の上ですが、ご協力して頂ける時間があるのなら・・・また、親達で見守りボランティアを作ったり・・・もう、自己責任として遊ぶことにしたりや、方法をいくつか考えて可能にできないのでしょうか？
- (5) せっかくキレイな棚田があるのだから、田んぼでの苗の植え付け、稲刈り体験をやらせてあげたいです。数年前、学校でおはやし体験がありました。当時の子ども達は、とても興味を持っていました。もう一度やって欲しいです。
- (6) 上小の児童の学力は中学校に行くと中くらいで、いま評定をオールAもらっているけど中学校ではオール5にはなりません。上小でも学力の底上げをしてもらいたいと思います。宿題は他の学校より少ないし、先生も規則に対してゆるめだと思います。少人数校ならではの、細かいところや個々への対応はありがたいと思っています。
- (7) いつもお世話になっております。一点、写真のことだけが、いつも気になります。遠足、運動会、社会見学等、行事の時だけでいいので、集合写真、またはスナップを販売してほしいです。学校のカメラで撮っている写真を何のために、いつまで保存しているのか、はっきりわかるように示してほしいのと、保護者も共有させてほしいというのが願いです。
- (8) 運動会、遠足等の行事の写真が欲しいです。節電のためなのでしょうが、2階の廊下が暗過ぎる様に感じます。
- (9) 食育がとてもありがたいです。
- (10) 正直なところ、一年生の教室、PTA 会議室、体育館、ランチルーム以外の施設に入ったことがないので、学校見学ができる日があるとありがたいです。音楽室や理科室、保健室、給食を作る部屋、プール、更衣室など、一度見てみたいなと思いました。体育の時の着替えはどのようにしているのか（1年生は男女一緒に着替えると聞いています）など気になります。
- (11) 上山口小学校では、たてわり活動がすばらしいと思います。学年をこえて、親しいお兄さん、お

姉さんがいるのは、とても心強いです。

先生方が一生懸命、一人一人の成長をみまもって下さっていると実感しています。

(12) たてわりの教科(授業)があり、とても良いと思います。益々、一人ひとりの個性を活かした学校環境づくりを心がけて頂きたいです。

(13) タテ割活動が充実しているのも、高学年が低学年に対してもとても優しいと思います。少数人数の学校ならではの地域の環境を生かした行事も子ども達にとって良い経験だと思うので、これからも継続していただきたいです。

2 学校として

(1) 挨拶について、

挨拶については、学校としても大切なことと認識しております。4月当初は、児童会の生活目標として全校で取り組んできましたが、ご指摘の通り、あいさつを大きな声で元気良くしてくれる子が減ってきているように感じます。これについては、来年度からではなくすぐに児童指導等で取り組んで参りたいと考えております。2学期の終業式の際には、学校長から挨拶コンクール入賞者の看板を提示しながら子どもたちに改めてあいさつの励行を促しておりました。1月には、葉山町教育委員会生涯学習課がPTAのご協力を得て「あいさつ励行運動」を実施しております。

学校でも引き続き継続的に指導して参りますが、同時にご家庭でも、どのような場合に挨拶するのかについて、お子様と話す機会を持っていただくなど、ご協力をお願いできたらと思っております。

(2) 校庭利用について

「放課後の校庭利用を可能に出来ないのか」とのご意見ですが、確かに校庭は、児童が遊ぶのには適している施設であると思っておりますが、次の2点の心配があります。一つ目は、下校中の安全です。登校時はほぼ同時時間帯に登校して来ますが、放課後校庭で遊んだ後下校すると、一緒に遊んでいた児童が同じ方向に下校するとは限りません。その際途中から一人になってしまう可能性が考えられます。新潟で小学2年生が連れ去られ殺害された事件は、下校中自宅近くで一人になったところを狙われたとの報道がありました。二つ目は、校庭での事故等のけがの問題です。放課後教員は会議等があるため、校庭で児童が遊んでいた際に万が一不測の事態が発生した際、緊急対応に時間がかかることがあることです。

しかしながら検討する余地はあると認識しております。具体的には、次の時を除くと、最終下校の15時50分までなら可能ではないかと考えられます。

ア 6時間授業の日(全校5時間授業の日課の際は、6校時に可能な日を想定)

イ 教職員が一堂に会する会議のある日(職員会議等)

ウ 日没の早い時期(11月中旬～3月)

エ その他

また、低学年については、一つ目の理由から特に丁寧な検討が必要であると考えております。

このことについて、検討を重ねましたが、児童の安全確保の観点から現段階では結論に至ってお

りません。いずれにいたしましても、新年度早々には結論を出し、改めてお知らせいたします。

横浜市の例は、登録者ということから推測すると、校舎を活用し市部局による「横浜市放課後児童クラブ」をはじめとする学童保育等が実施されているのではないかと考えられます。

(3) 「ふたばの子」 評定について

小学校と中学校では、A評定の基準が中学校と異なるため、小学校で評価Aであっても中学校で評定5になるとは限りません。小学校では、ある一定の評価目標規準値に達成していればAとなり、極めてよくできている児童のみがAということではありません。中学校では、簡単に表現すると極めてよく出来ている生徒が評定5となり、それ以降順次評定4～1となります。

また、学力向上については、前述いたしましたように、2020年度から実施される新学習指導要領の趣旨に基づき、学校として授業研究をすすめることで引き続き授業改善に取り組んで参りたいと考えています。

(4) 学校行事等の写真について

学校行事等での写真は、学校だよりや学年学級通信、卒業アルバム掲載用写真や、各行事の記録に活用するため撮影しております。撮影した写真データは、撮影後、個人情報保護の観点からパソコンに保存するのではなく、専用の外部記録媒体に保存し、流失等がないように取り扱っています。また、原則として6年生卒業以降は、該当学年のデータは消去しています。

今日写真データは、比較的簡単に SNS 上で掲載可能であることに加え、1枚に複数の児童が写っております。これらを勘案し、写真データを重要な個人情報としてとらえ管理する必要があると考えています。ご理解賜りますようお願いいたします。

(5) 更衣室について

本校では、体育着等への着替えに関して、低学年は教室で着替えておりますが、3年生以上は、男女別の更衣室で着替えを行っています。

(6) 棚田の活用について

上山口の棚田は、とても風光明媚であることは承知しております。社会科や理科との関連で5年生が棚田を見学し、地域の方を講師に稲作について現地でご指導いただき、稲の苗のご提供を受け、学校で子どもたちが、バケツで稲づくりを実施しております。5年生児童一人ひとりが自分のバケツで稲づくりをすることで、小さいながらも稲作体験をしております。自分の稲ということから稲が出来るまでの過程を学習するうえで効果を上げています。棚田での稲作体験はとても良いとは思いますが、他の体験学習や授業時数等との兼ね合いを含め検討していきたいと考えております。

(7) 2階の廊下照明について

2階の廊下には、「小さな美術館」もあり明るくしておくことは重要であると思います。子どもたちが学校にいる時間は、できる限り照明をつけ明るくしておきたいと思います。

貴重なご意見・ご要望、ありがとうございました。